

株式会社エフエム茶笛

平成 22 年度第 7 回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成 23 年 3 月 10 日 (木) 17 時 00 分~18 時 00 分
2. 開催場所 : 株式会社エフエム茶笛 2階 会議室
3. 委員の出席
委員総数 : 7 名
出席委員数 : 6 名
出席委員 : 大山博 (番組審議会委員長) 水村雅啓 細田和男 小林昌幸
天野三千代 飯島静江
放送事業者側出席者 : 代表取締役社長 荻野 喜美雄
専務取締役 東 たか子
営業課長 宮岡 洋明
4. 議 題 : 番組内容について
5. 議事概要 : 議題に沿って各委員お一人お一人の放送聴取の感想・意見・疑問点などを挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行、必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら会を進めた。

6. 審議内容

委員長：これより各委員からご意見をいただきます。

委員：ターゲットにすべきは、やはりシニアと子ども（を抱える保護者層）ですね。リスナーのライフスタイルを考えると、夜の時間でリスナーの獲得は難しいのではないのでしょうか？聴いてもらうためには、市民との協力関係を築くことです。

また、情報過多や各番組で採り上げる情報が重複するなどには注意が必要です。その点、先日「県内」の情報が聴こえてきてありがたかったです。

委員：安心して聴いていられる番組ばかりで、パーソナリティの方々も頑張っていると思います。市民レポーターの活躍は未聴ですが楽しみです。

前回、来期の事業方針として挙がりました「安心・安全・便利」というテーマで言えば、交通取締情報がとても役立ちました。増やしてほしいくらいです。

委員：市民レポーターの出演した放送を聴きましたが、入間市立東金子公民館で弓道の模様を生中継していました。残念ながら、弓を引く様を実況しても、表現力が不足にこちらまで伝わりませんでした。やはりリスナーの立場に立つことが大事です。

委員：先日、「とれたてラジオ」を聴いていたら、短時間に連続してかんでしまったパーソナリティがさらりとお詫びした様子が、むしろほのぼのしました。

さて、ニュージーランドの大地震がありました。ロータリークラブの講師として震災被災者の話を聴いた時に、一番頼りになるのはラジオであるというお話がありました。普段「便利」ゆえに獲得したリスナーに対して、大地震の際に何が出来るかをあらためて考えておく必要があると感じました。

事業者：大地震の当日に被災地へと赴いたことがあります。被災地は惨々たる状況でした。関東での大地震発生においては、グループ会社の入間ケーブルテレビと人員面で連携し、対応していく段取りです。

委員長：過去に番組出演していた増田俊男氏が、昨年 11 月に「価値の無い未公開株を大量に購入させられた」などとして、仙台地方裁判所に訴訟を起こされ敗訴したことを知りましたが、放送において現在も氏との関係はあるのでしょうか？

事業者：訴訟になる以前に、当社では当該番組の放送を問題視し打ち切っていますので、無関係です。

委員長：出席委員の皆様ありがとうございました。これにて議事を終了させていただきます。

(以上で議事終了)